

## 第 8 2 回

# トラック運送業界の景況感（速報）

平成 2 5 年 4 月～ 6 月期

---

平成 2 5 年 4 月～ 6 月期は、金融・資本市場は乱高下を繰り返し、株安や円高方向へ振れる巻き戻しの動きが見られたが、企業マインドは引き続き改善の方向にあった。トラック運送業界では、軽油価格は若干低下したものの、依然として燃料コストの負担が大きい状況が続いている。

このような中、トラック運送業界の景況感の判断指数は▲ 3 6 となり、前回（▲ 3 5）とほぼ横ばいとなった。日銀短観の 4～6 月期調査においては、大企業については製造業を中心に業況判断 DI 値が改善した業種が多く、企業マインドの改善が広がってきている。本調査においても、大規模事業者は 1 7 ポイントの業況改善がみられたが、中規模事業者、小規模事業者はそれぞれ 2 ポイント、6 ポイントの低下がみられ、全体の判断指数はほぼ横ばいの状況となった。

今後の見通しについては、今回から 3 ポイント上昇の▲ 3 3 となり、やや改善に向かう見込みであるが、燃料コストの上昇やドライバーの高齢化、新規ドライバーのなり手不足等の不安要素がある。製造業等の業況が改善する中、トラック運送業界では、日々の物量の増減に対する効率的な人員配置・配車等に課題があるなど、先行きには不透明感がある。今後の見通しについては、小規模事業者は 9 ポイントの改善見込み、大規模事業者、中規模事業者はそれぞれ 2 ポイント、1 ポイントの低下が見込まれている。

---

平成 2 5 年 8 月 9 日

公益社団法人 全日本トラック協会

## 1. 今回（平成25年4月～6月期）の状況

### ①概況

平成25年4～6月期におけるトラック運送業界の景況感は、「好転」とした事業者は11%（前回11%）、「悪化」とした事業者は42%（前回41%）で、判断指標は▲36となり、前回（▲35）とほぼ横ばいとなった。

### ②特別積合せ貨物

宅配貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が21%、「増加」とする事業者が35%で、判断指標は+17となり、前回（▲7）から24ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が21%、「増加」とする事業者が31%で、判断指標は+7となり、前回（▲11）よりも18ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が22%、「増加」とする事業者が20%で、判断指標は▲4となり、前回（▲17）から13ポイント改善した。

宅配以外の特積貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が20%、「増加」とする事業者が24%で、判断指標は+6となり、前回（+1）から5ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が26%、「増加」とする事業者が22%で、判断指標は▲2となり、前回（0）とほぼ横ばいとなった。営業利益は「減少」とする事業者が29%、「増加」とする事業者が17%で、判断指標は▲14となり、前回（▲23）から9ポイント改善した。

### ③一般貨物

一般貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が35%、「増加」とする事業者が21%で、判断指標は▲20となり、前回（▲20）と横ばい。営業収入は「減少」とする事業者が38%、「増加」とする事業者が25%で、判断指標は▲20となり、前回（▲24）から4ポイント改善。営業利益は「減少」とする事業者が45%、「増加」とする事業者が16%で、判断指標は▲36となり、前回（▲35）とほぼ横ばいとなった。

### ④運賃水準

運賃水準は、宅配貨物は▲4（前回▲4）と横ばい、宅配以外の特積貨物は▲9（前回▲6）から3ポイント悪化、一般貨物は▲19（前回▲21）とほぼ横ばいとなった。

### ⑤実働率等

実働率は▲21（前回▲18）と3ポイント悪化、実車率は▲19（前回▲18）となり、ほぼ横ばいとなった。

雇用状況（人手の過不足）は+32（前回+30）とほぼ横ばいとなったが、依然として不足感が強い。採用状況は▲3（前回▲9）で指標は6ポイント改善し、所定外労働時間は▲13（前回▲7）と6ポイント減少している。

保有車両台数は▲4（前回▲5）で指標はほぼ横ばい、貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）は▲9（前回▲10）でほぼ横ばいとなった。

## ⑥地域別および規模別、取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、前回まで相対的に指標の水準が良かった東北が水準を下げた。一方で、前回まで水準の低かった北陸信越の水準が上昇している。

事業者の規模別では、大規模事業者は相対的に指標の水準がよい。大規模事業者は前回より改善しているが、小規模事業者は前回よりもやや悪化している。

主な取扱い品目別について、建設関連貨物は前回よりも改善している。

## 2. 今後（平成25年7月～9月期）の見通し

### ①概況

平成25年7～9月期の見通しは、業界の景況感の判断指標は▲33で、今回から3ポイント上げる見込み。

### ②特別積合せ貨物

宅配貨物は、輸送数量及び営業収入は僅かに減少、営業利益はやや減少の見込みである。

宅配以外の特積貨物は、輸送数量は僅かに減少、営業収入及び営業利益はほぼ横ばいの見込みである。

### ③一般貨物

一般貨物は、輸送数量はほぼ横ばい、営業収入は僅かに減少、営業利益はほぼ横ばいの見込みである。

### ④運賃水準

宅配貨物と宅配以外の特積貨物は横ばいの見込みである。また、一般貨物は僅かに悪化の見込みである。

### ⑤実働率等

実働率、実車率はほぼ横ばいの見込みである。

雇用状況（人手の過不足）はやや指標の水準を上げ、引き続き不足感がある見込みである。採用状況はほぼ横ばい、所定外労働時間はやや指標の水準を上げ、増加する見込みである。

保有車両台数、貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）はほぼ横ばい。経常損益は僅かに悪化の見込みである。

## ⑥地域別および規模別、取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、中国で20ポイント以上指標を下げる見込みであり、北海道、関東は10ポイント以上指標を上げる見込みである。

事業者の規模別では、小規模の事業者において改善する見込みである。

主な取扱い品目別では、建設関連貨物はやや悪化するものの、それ以外の品目においては、改善する見込みである。

### 3. 特積貨物の概況

項目		概況						
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
宅	輸送数量	前回	4	17	52	20	7	(-7)
		今回	4	31	44	19	2	(17)
		見通	2	24	61	11	2	(13)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より24ポイント改善した。</li> <li>・規模別ではいずれの規模も前回から改善した。</li> <li>・今後は水準を僅かに下げる見込み。</li> </ul>						
配	営業収入 (売上高)	前回	2	15	57	22	4	(-11)
		今回	0	31	48	17	4	(7)
		見通	0	22	61	15	2	(4)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より18ポイント改善した。</li> <li>・規模別では大規模事業者と中規模事業者は前回から改善しており、小規模事業者はやや悪化している。</li> <li>・今後は水準を僅かに下げる見込み。</li> </ul>						
貨	営業利益	前回	0	20	50	24	7	(-17)
		今回	0	20	57	20	2	(-4)
		見通	0	17	61	19	4	(-9)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より13ポイント改善した。</li> <li>・規模別ではいずれの規模も前回から改善した。</li> <li>・今後は水準をやや下げる見込み。</li> </ul>						
物	運賃・料金の水準	前回	0	9	80	9	2	(-4)
		今回	0	6	85	9	0	(-4)
		見通	0	6	85	9	0	(-4)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回からほぼ横ばいである。</li> <li>・規模別では小規模事業者が悪化しており、中規模事業者は改善、大規模事業者は横ばいである。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						

#### 【調査の概要】

平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。  
第82回調査は、平成25年6月19日に、モニターに対して調査開始。平成25年7月16日回収分までを集計。

	特積	一般	回答事業者 全体
回収数	91	573	596

※一部回答事業者の重複あり

項 目		概 況						
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
宅配	輸送数量	前回	1	23	51	25	0	(1)
		今回	1	23	56	20	0	(6)
		見通	1	19	62	19	0	(2)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より5ポイント改善した。</li> <li>・規模別では小規模事業者は前回から悪化しているが、中規模事業者は改善。</li> <li>・今後は水準を僅かに下げる見込み。</li> </ul>						
以外	営業収入 (売上高)	前回	1	25	47	27	0	(0)
		今回	1	21	52	26	0	(-2)
		見通	1	19	57	23	0	(-2)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より2ポイント悪化した。</li> <li>・規模別では小規模事業者と中規模事業者は前回からやや悪化しているが、大規模事業者はやや改善。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						
の特	営業利益	前回	0	14	49	35	1	(-23)
		今回	0	17	53	28	1	(-14)
		見通	0	16	54	28	1	(-15)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より9ポイント改善した。</li> <li>・規模別では大規模事業者は前回より改善、中規模事業者はやや改善、小規模事業者はやや悪化。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						
積貨物	運賃・料金の水準	前回	0	8	79	12	1	(-6)
		今回	0	5	81	14	0	(-9)
		見通	0	5	81	14	0	(-9)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より3ポイント悪化した。</li> <li>・規模別では小規模事業者と中規模事業者でやや改善、大規模事業者ではやや悪化している。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						

凡例

	大幅に増加・上昇・好転・人手不足	+2点	<p>(注1) 各グラフの上段は前回の状況、中段は今回の状況、下段は今後の見通しを示す。</p> <p>(注2) 各グラフの構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。</p>
	やや増加・上昇・好転・人手不足	+1点	
	横ばい	0点	
	やや減少・低下・悪化・人手過剰	-1点	
	大幅に減少・低下・悪化・人手過剰	-2点	

(注3) グラフ右のカッコ内は業況判断指標。指標は、各設問の回答に対し、増加・好転+1～+2、横ばい0、減少・悪化-1～-2の点数を与え、1事業者当たりの平均を100倍することにより算出している。

A (設問Aの回答者数) = a<sub>1</sub>+a<sub>2</sub>+a<sub>3</sub>+a<sub>4</sub>+a<sub>5</sub> (設問Aの選択肢1～5の回答数の和)

指標 = { (+2×a<sub>1</sub>) + (+1×a<sub>2</sub>) + (0×a<sub>3</sub>) + (-1×a<sub>4</sub>) + (-2×a<sub>5</sub>) } ÷ A × 100

#### 4. 一般貨物の概況

項目	概況						
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
輸送数量 (全体)	前回	0	22	40	31	6	(-20)
	今回	0	21	43	29	6	(-20)
	見通	0	19	49	27	5	(-18)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回からほぼ横ばいである。</li> <li>・地域別では北陸信越と九州が改善している。品目別では機械関連が改善している。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>							
営業収入 (売上高)	前回	1	22	37	34	6	(-24)
	今回	1	24	37	31	7	(-20)
	見通	0	18	45	30	6	(-24)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より4ポイント改善した。</li> <li>・地域別では北陸信越が前回から改善している。品目別では機械関連が改善している。</li> <li>・今後は水準を僅かに下げる見込み。</li> </ul>							
営業利益	前回	0	17	37	38	8	(-35)
	今回	0	16	38	38	7	(-36)
	見通	0	14	42	37	7	(-37)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より1ポイント悪化した。</li> <li>・地域別では北陸信越が改善している。品目別では消費関連が改善している。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>							
運賃・料金の水準	前回	0	4	74	18	3	(-21)
	今回	0	4	76	18	3	(-19)
	見通	0	4	72	21	3	(-23)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より2ポイント改善した。</li> <li>・地域別では東北、関東が前回から改善、中国が悪化している。品目別では消費関連が改善している。</li> <li>・今後は水準を僅かに下げる見込み。</li> </ul>							

## 5. 共通の概況

項目	概況						
		0%	20%	40%	60%	80%	100%
実働率	前回	1	17	50	29	4	(-18)
	今回	1	16	48	29	5	(-21)
	見通	1	14	53	27	5	(-21)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より3ポイント悪化した。</li> <li>・地域別では北陸信越が前回から改善、中国が悪化。品目別では建設関連が前回から改善。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						
実車率	前回	1	15	53	27	3	(-18)
	今回	1	14	57	24	5	(-19)
	見通	0	13	59	24	4	(-17)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より1ポイント悪化した。</li> <li>・地域別では九州が前回から改善、中国が悪化。品目別ではいずれも横ばい。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						
雇用状況 (人手の過不足)	前回		7	24	60	8	0 (30)
	今回		8	24	60	7	1 (32)
	見通		12	27	53	7	1 (41)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より2ポイント上昇した(不足感が高くなった)。</li> <li>・地域別では東北、北陸信越の水準が高く、規模別では大規模事業者の水準が高く、不足感がある。</li> <li>・今後はやや水準を上げる見込み。</li> </ul>						
採用状況	前回	0	12	70	14	4	(-9)
	今回	1	13	71	12	3	(-3)
	見通	1	12	71	12	3	(-5)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より6ポイント改善した。</li> <li>・規模別では大規模事業者が改善し、採用が増加している。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						
所定外労働時間	前回	0	13	68	17	2	(-7)
	今回	0	12	66	18	3	(-13)
	見通	0	13	69	16	3	(-8)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より6ポイント減少した。</li> <li>・規模別では小規模事業者の水準が低く、所定外労働時間が減少している。</li> <li>・今後はやや水準を上げる見込み。</li> </ul>						

項目	概況						
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
保有車両台数	前回	0	9	77	12	1	(-5)
	今回	0	13	71	14	1	(-4)
	見通	0	12	73	14	1	(-5)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より1ポイント改善した。</li> <li>・地域別では北陸信越、近畿が前回より増加、中国では減少している。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						
貨物の再委託 (下請運送会社への 委託割合)	前回	1	13	66	18	3	(-10)
	今回	1	13	64	17	4	(-9)
	見通	1	13	66	16	4	(-9)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より1ポイント増加した。</li> <li>・地域別では東北が前回より増加し、規模別では大規模事業者が前回より増加している。</li> <li>・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</li> </ul>						
経常損益	前回	1	15	39	37	8	(-36)
	今回	0	19	39	34	7	(-28)
	見通	0	16	43	34	6	(-31)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より8ポイント改善した。</li> <li>・地域別では北陸信越が前回から改善している。規模別では、大規模事業者が改善している。</li> <li>・今後は水準を僅かに下げる見込み。</li> </ul>						
業界の景況感	前回	0	11	47	34	7	(-35)
	今回	0	11	47	36	6	(-36)
	見通	0	14	44	36	6	(-33)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回より1ポイント悪化した。</li> <li>・地域別では北陸信越が前回から改善している。品目別では、建設関連が改善している。</li> <li>・今後は水準を僅かに上げる見込み。</li> </ul>						



## 6. 事業者特性格別の特徴

事業者特性	特 徴																																																												
①地域（注4）	<p>◆「業界の景況感」の業況判断指標の地方ブロック別順位◆</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">H25年 1～3月期前回</th> <th colspan="2">H25年 4～6月期今回</th> <th colspan="2">H25年 7～9月期見通</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>東 北</td> <td>四 国</td> <td>北 陸</td> <td>北 陸</td> <td>信 越</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>四 国</td> <td>北 陸</td> <td>信 越</td> <td>北 海</td> <td>道 道</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>北 海</td> <td>道 道</td> <td>中 部</td> <td>四 国</td> <td>東 北</td> </tr> <tr> <td>4位</td> <td>中 部</td> <td>北 海</td> <td>道 道</td> <td>東 北</td> <td>中 部</td> </tr> <tr> <td>5位</td> <td>九 州</td> <td>東 北</td> <td>中 部</td> <td>近 畿</td> <td>東 北</td> </tr> <tr> <td>6位</td> <td>近 畿</td> <td>東 北</td> <td>中 部</td> <td>近 畿</td> <td>東 北</td> </tr> <tr> <td>7位</td> <td>関 東</td> <td>九 州</td> <td>関 東</td> <td>関 東</td> <td>東 北</td> </tr> <tr> <td>8位</td> <td>中 国</td> <td>近 畿</td> <td>東 北</td> <td>九 州</td> <td>東 北</td> </tr> <tr> <td>9位</td> <td>北 陸</td> <td>信 越</td> <td>関 東</td> <td>中 国</td> <td>東 北</td> </tr> </tbody> </table>	H25年 1～3月期前回		H25年 4～6月期今回		H25年 7～9月期見通		1位	東 北	四 国	北 陸	北 陸	信 越	2位	四 国	北 陸	信 越	北 海	道 道	3位	北 海	道 道	中 部	四 国	東 北	4位	中 部	北 海	道 道	東 北	中 部	5位	九 州	東 北	中 部	近 畿	東 北	6位	近 畿	東 北	中 部	近 畿	東 北	7位	関 東	九 州	関 東	関 東	東 北	8位	中 国	近 畿	東 北	九 州	東 北	9位	北 陸	信 越	関 東	中 国	東 北
H25年 1～3月期前回		H25年 4～6月期今回		H25年 7～9月期見通																																																									
1位	東 北	四 国	北 陸	北 陸	信 越																																																								
2位	四 国	北 陸	信 越	北 海	道 道																																																								
3位	北 海	道 道	中 部	四 国	東 北																																																								
4位	中 部	北 海	道 道	東 北	中 部																																																								
5位	九 州	東 北	中 部	近 畿	東 北																																																								
6位	近 畿	東 北	中 部	近 畿	東 北																																																								
7位	関 東	九 州	関 東	関 東	東 北																																																								
8位	中 国	近 畿	東 北	九 州	東 北																																																								
9位	北 陸	信 越	関 東	中 国	東 北																																																								
②規模（注5）	<p>・大規模事業者の景況感は前回と比べ改善し、中規模事業者の景況感は前回とほぼ横ばい、小規模事業者はやや悪化した。</p> <p>・今後は小規模事業者が改善する見込み。</p> <p>事業規模別 業界の景況感業況判断指標の推移(H23.7～9期より)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業規模</th> <th>H23.7～9期</th> <th>H24.1～3期</th> <th>H24.4～6期</th> <th>H24.7～9期</th> <th>H25.1～3期</th> <th>H25.4～6期</th> <th>H25.7～9期(見通)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大規模</td> <td>-40.0</td> <td>-35.0</td> <td>-35.0</td> <td>-35.0</td> <td>-35.0</td> <td>-26.1</td> <td>-9.4</td> </tr> <tr> <td>中規模</td> <td>-45.0</td> <td>-45.0</td> <td>-45.0</td> <td>-45.0</td> <td>-45.0</td> <td>-34.8</td> <td>-36.8</td> </tr> <tr> <td>小規模</td> <td>-50.0</td> <td>-50.0</td> <td>-50.0</td> <td>-50.0</td> <td>-50.0</td> <td>-39.5</td> <td>-45.7</td> </tr> </tbody> </table>	事業規模	H23.7～9期	H24.1～3期	H24.4～6期	H24.7～9期	H25.1～3期	H25.4～6期	H25.7～9期(見通)	大規模	-40.0	-35.0	-35.0	-35.0	-35.0	-26.1	-9.4	中規模	-45.0	-45.0	-45.0	-45.0	-45.0	-34.8	-36.8	小規模	-50.0	-50.0	-50.0	-50.0	-50.0	-39.5	-45.7																												
事業規模	H23.7～9期	H24.1～3期	H24.4～6期	H24.7～9期	H25.1～3期	H25.4～6期	H25.7～9期(見通)																																																						
大規模	-40.0	-35.0	-35.0	-35.0	-35.0	-26.1	-9.4																																																						
中規模	-45.0	-45.0	-45.0	-45.0	-45.0	-34.8	-36.8																																																						
小規模	-50.0	-50.0	-50.0	-50.0	-50.0	-39.5	-45.7																																																						
③品目（注6）	<p>・消費関連貨物を扱う事業者では、前回と比べ景況感は横ばいであった。一般貨物の輸送量としてみると、農水産品の水準が相対的に高い。今後の水準は横ばいの見込み。</p> <p>・建設関連貨物を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を上げた。一般貨物の輸送数量としてみると、林産品の水準が相対的に高い。今後の水準を下げる見込み。</p> <p>・機械関連を扱う事業者では、前回と比べ景況感は僅かに水準を上げた。一般貨物の輸送数量としてみると、輸送機械、その他機械が水準を上げた。今後は水準を上げる見込み。</p> <p>・その他貨物を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準をやや下げた。一般貨物の輸送数量としてみると、石油製品の水準が相対的に低く、石炭製品、化学肥料が水準を上げた。今後は水準をやや下げる見込み。</p> <p>業界の景況感(品目別、前回からの指標の増減)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目別</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消費関連貨物</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>建設関連貨物</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>機械関連貨物</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>その他貨物</td> <td>-8</td> </tr> </tbody> </table>	品目別	増減	消費関連貨物	1	建設関連貨物	12	機械関連貨物	4	その他貨物	-8																																																		
品目別	増減																																																												
消費関連貨物	1																																																												
建設関連貨物	12																																																												
機械関連貨物	4																																																												
その他貨物	-8																																																												

(注4) 地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。

(注5) 規模別分類

大規模事業者：101両以上

中規模事業者：21両以上100両以下

小規模事業者：20両以下

(注6) 品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品（セメント等）など

機械関連貨物：電気機械（家電含む）、輸送機械（自動車等）など

その他貨物：石炭、原油、石油、化学、紙・パルプなど

7. 景況感一覽表

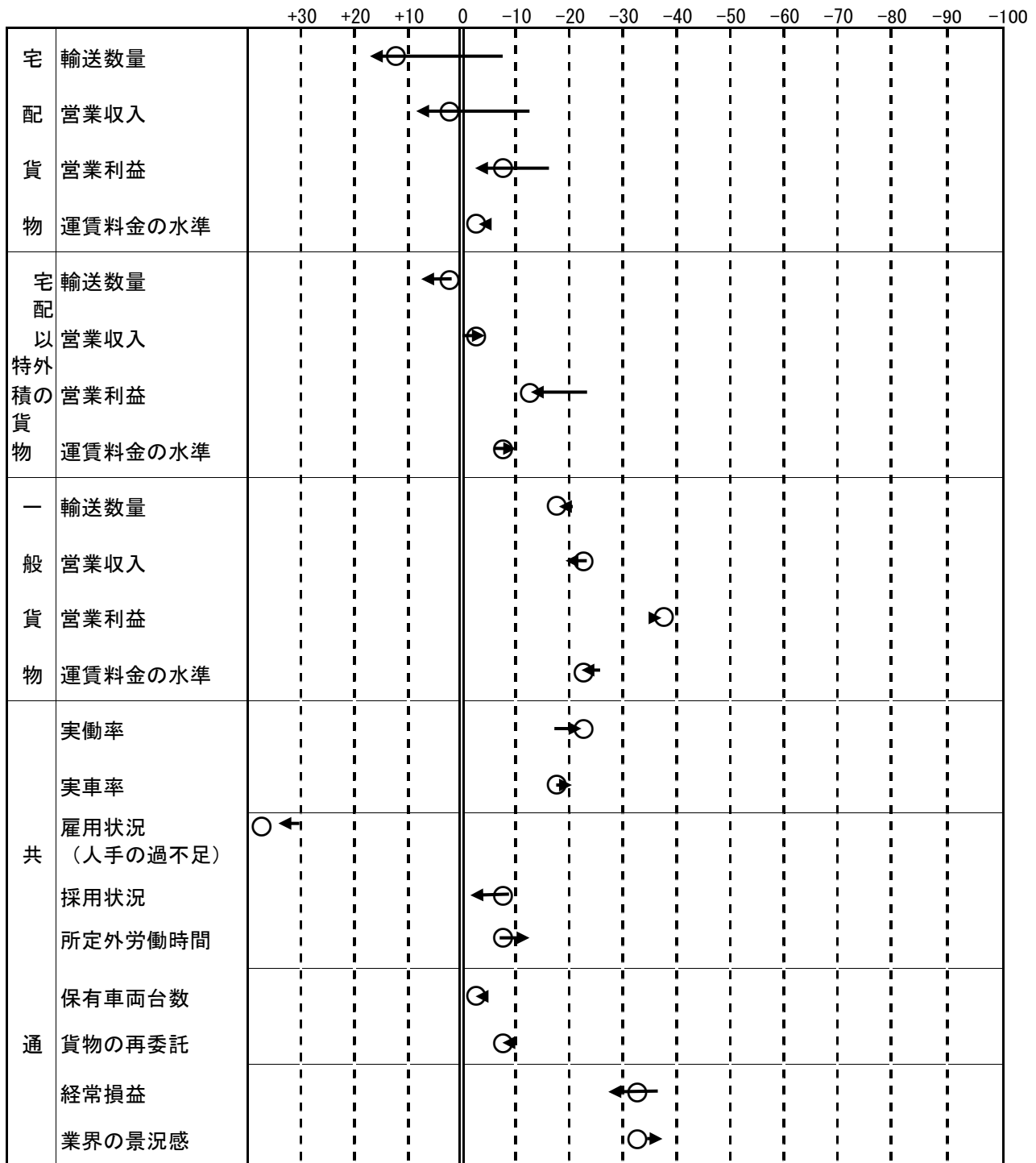
		特積貨物						一般貨物			雇用関連			総合計		
		宅配貨物			宅配以外の 特積貨物											
全体		→	→	→	→	→	→	↘	↘	↘	→	→	→	→	→	→
地域	北海道	→	↑	↗	↗	→	→	↘	↘	→	→	→	→	→	→	→
	東北	↗	↗	→	→	→	→	→	→	→	→	↗	↗	→	→	→
	北陸信越	↘	↗	↗	→	→	→	↘	→	→	→	→	→	→	→	→
	関東	↘	→	→	↘	→	→	↘	↘	↘	→	→	→	↘	→	→
	中部	→	↘	→	→	→	→	↘	↘	↘	→	→	→	→	→	→
	近畿	→	↘	↘	→	↘	↘	↘	↘	↘	→	→	→	→	↘	↘
	中国	↘	↘	↘	↗	↗	→	↘	↘	↘	→	→	→	→	→	↘
	四国	→	↗	↗	↗	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	九州	↗	→	→	→	→	↘	↘	→	→	→	→	→	→	→	→
事業者規模	小規模事業者	↘	↘	→	↘	↘	→	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	→
	中規模事業者	↘	→	→	→	→	→	↘	↘	↘	→	→	→	→	→	→
	大規模事業者	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	↗	→	→	→	→
取り扱い品目	消費関連貨物	-	-	-	→	→	→	↘	→	→	→	→	→	→	→	→
	建設関連貨物	-	-	-	→	→	↗	→	→	↘	→	→	→	→	→	→
	機械関連貨物	-	-	-	→	→	→	↘	↘	↘	→	→	→	→	→	→
	その他貨物	-	-	-	→	→	→	↘	↘	↘	→	→	→	→	↘	→

(注7) 各項目は、関連する判断指標（前年同期に対する水準）から平均値を算出。  
 貨物別については、輸送数量、営業収入、営業利益、運賃水準の平均値で判断。  
 宅配貨物は品目別評価をしていない。

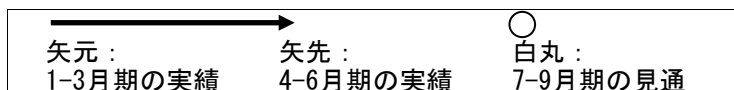
凡例 ・各欄は、左：前回（1-3月） 中央：今回（4-6月） 右：見通（7-9月）  
 ・矢印と判断指数の対応

判断指数	… -100	… -60	… -20	… +20	… +60	… +100	…
矢印	⏚	↓	↘	→	↗	↑	⏚

8. 業況判断指標の前回調査（平成25年1月～3月期）からの変化

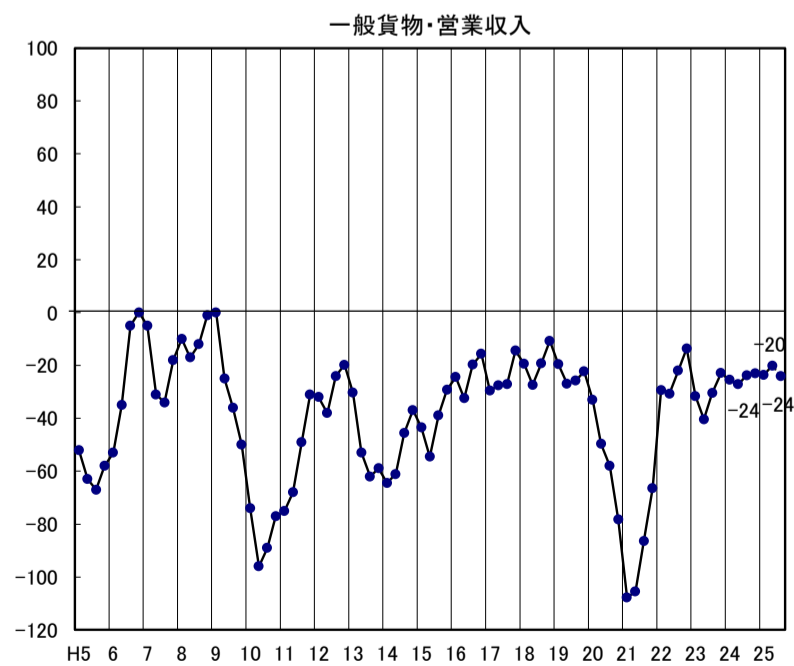
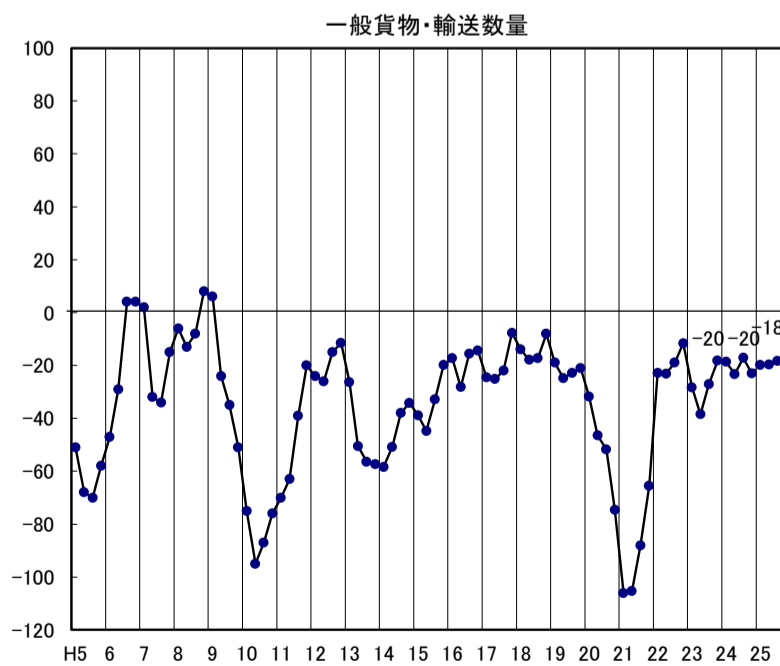
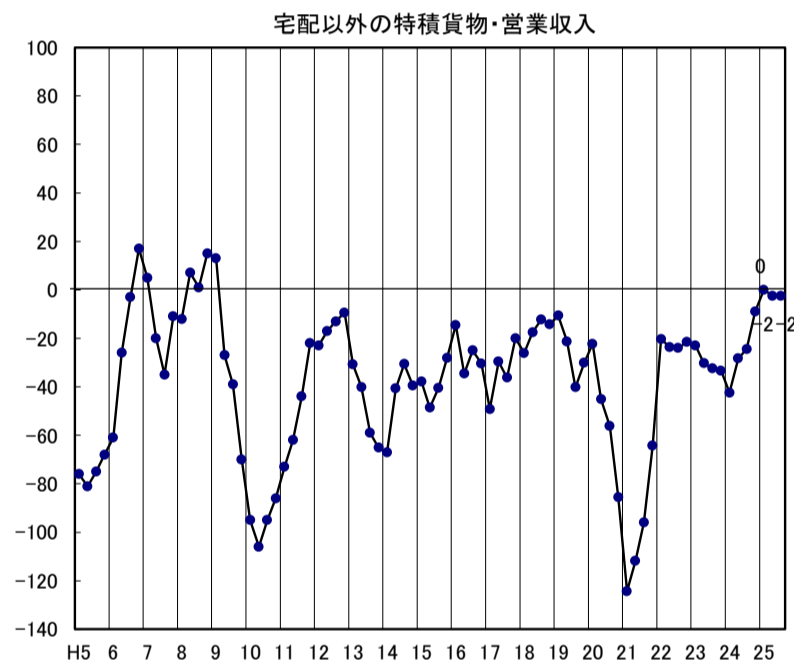
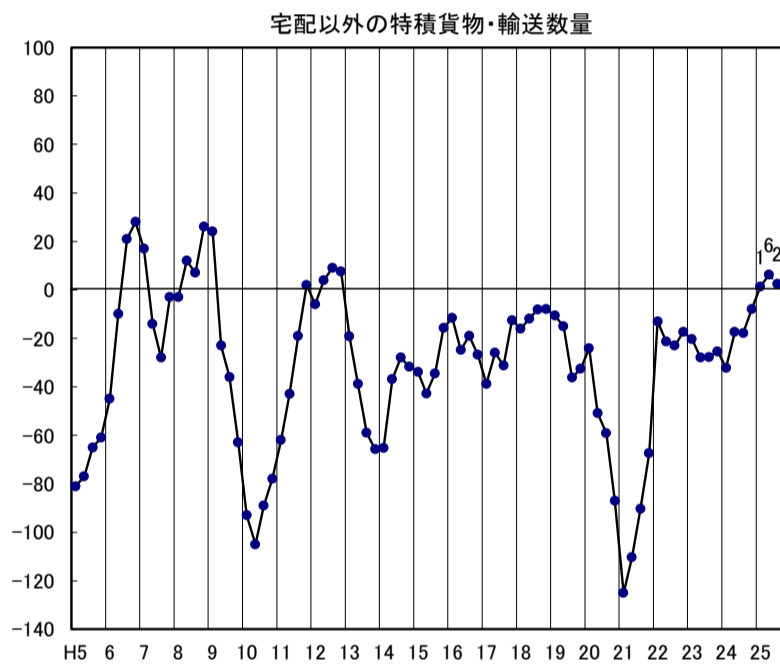
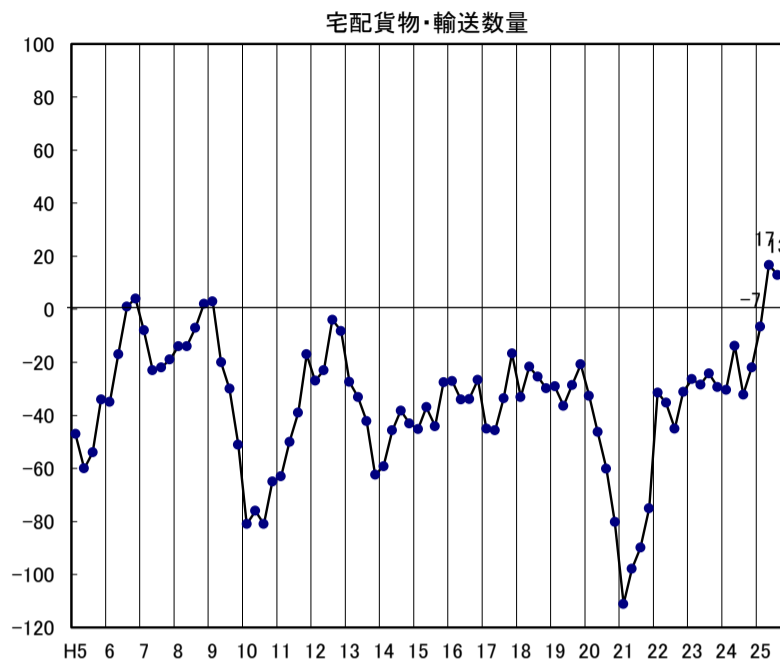


凡例



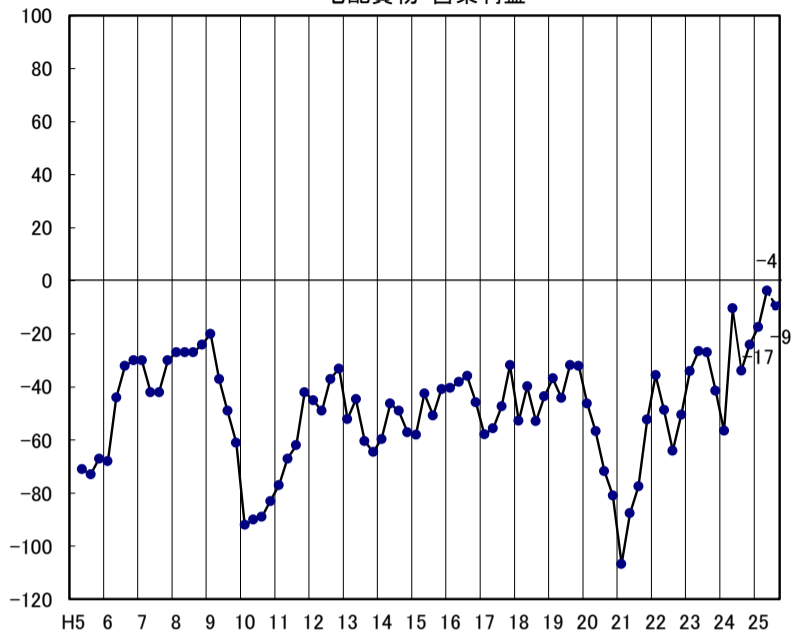
## 9. 業況判断指標の推移

平成5年第1四半期～平成25年第2四半期実績、平成25年第3四半期見通し

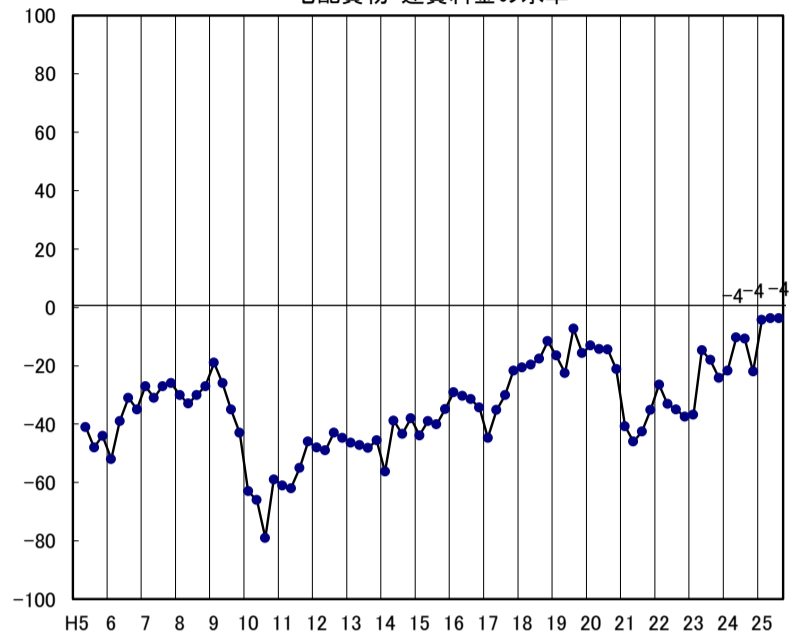


平成5年第1四半期～平成25年第2四半期実績、平成25年第3四半期見通し

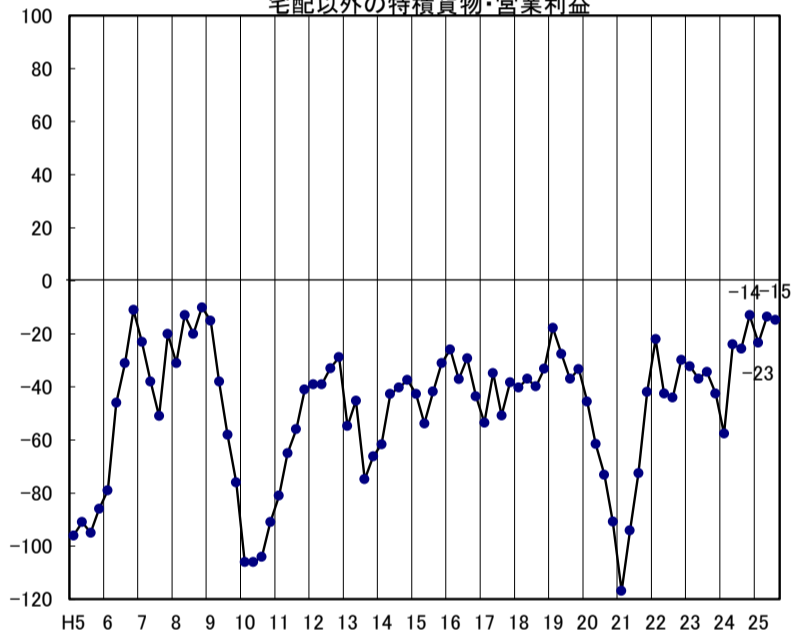
宅配貨物・営業利益



宅配貨物・運賃料金の水準



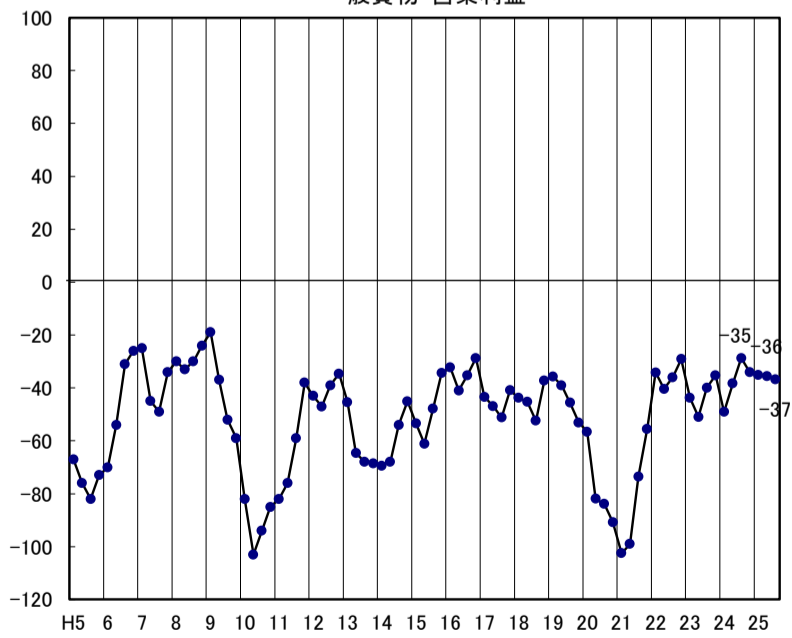
宅配以外の特積貨物・営業利益



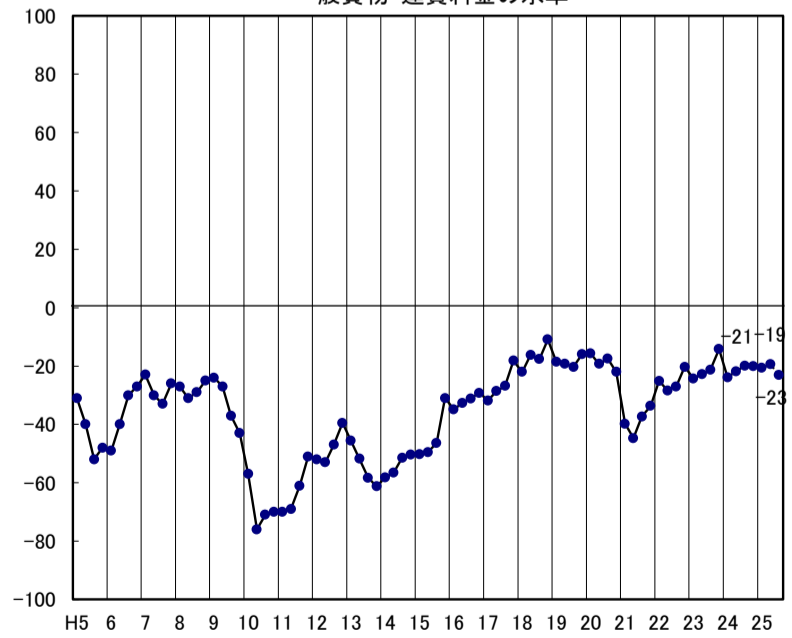
宅配以外の特積貨物・運賃料金の水準



一般貨物・営業利益

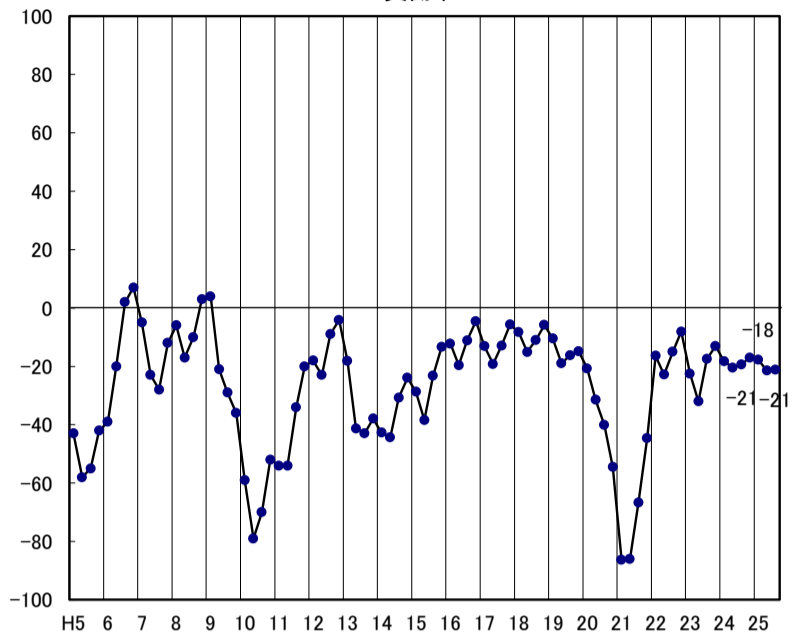


一般貨物・運賃料金の水準

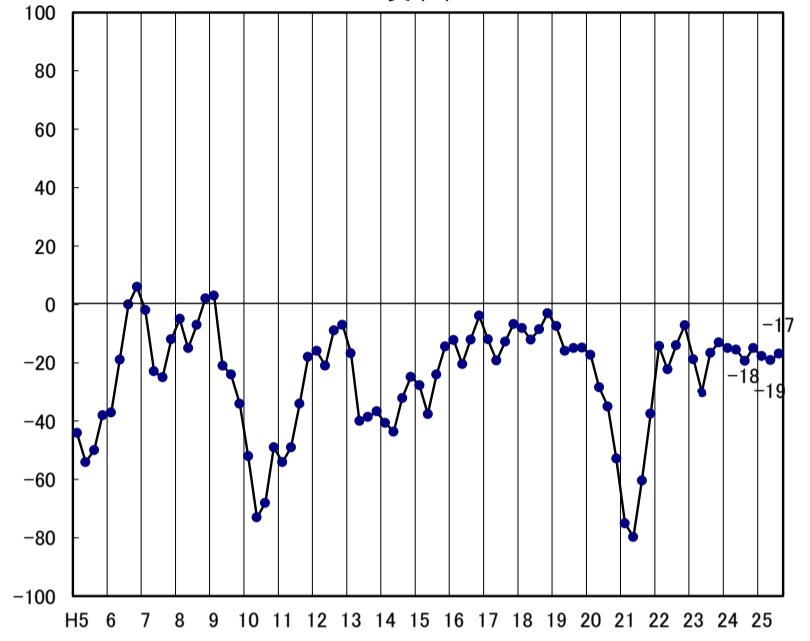


平成5年第1四半期～平成25年第2四半期実績、平成25年第3四半期見通し

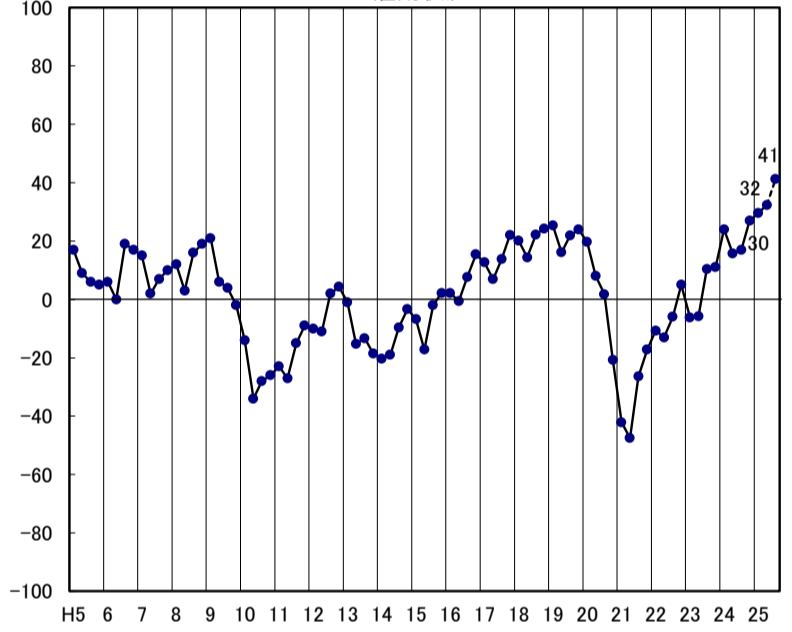
実働率



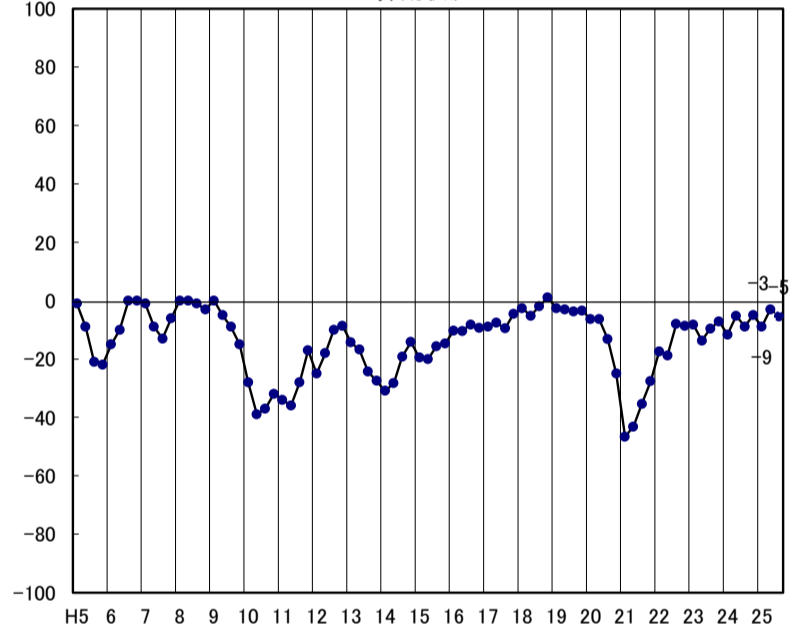
実車率



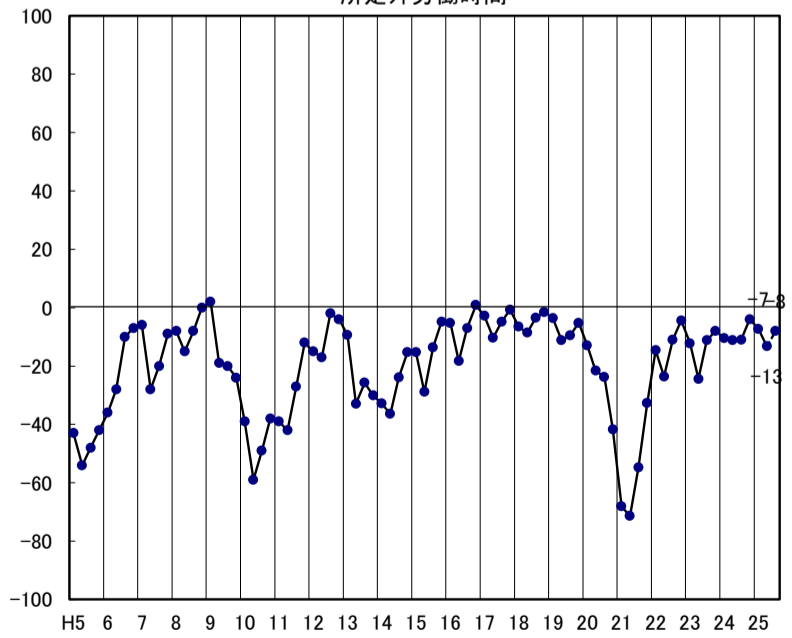
雇用状況



採用状況

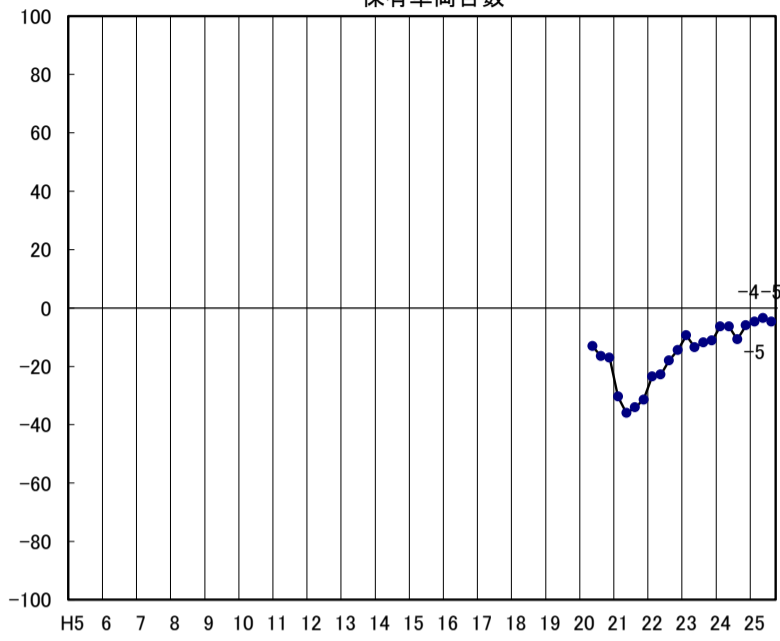


所定外労働時間

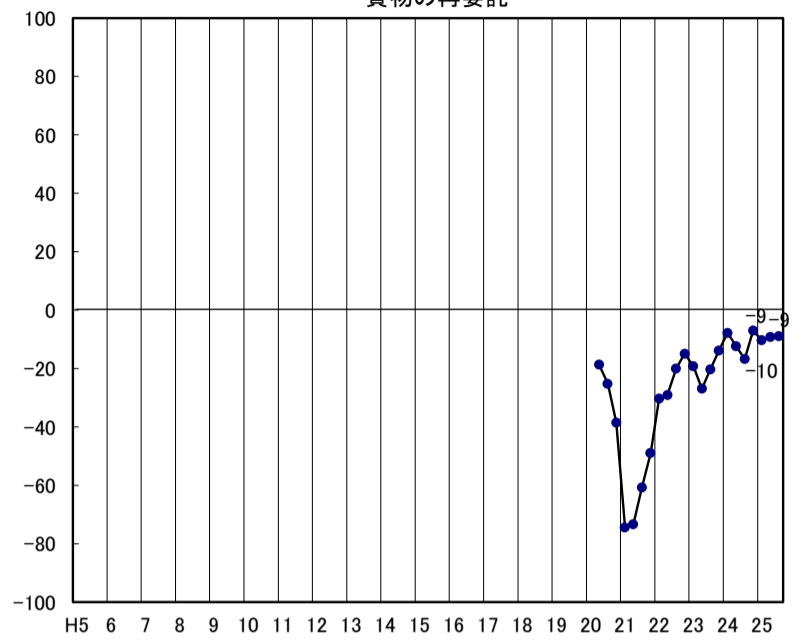


平成5年第1四半期～平成25年第2四半期実績、平成25年第3四半期見通し

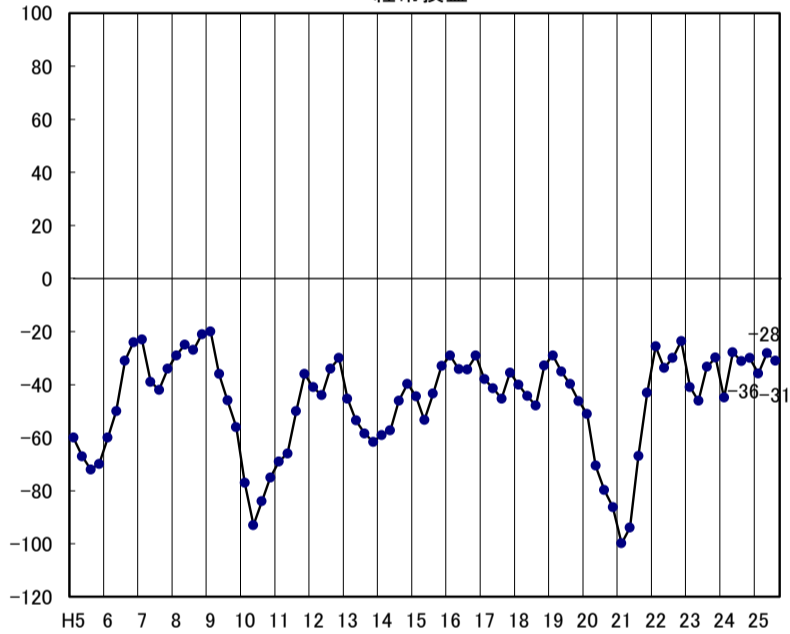
保有車両台数



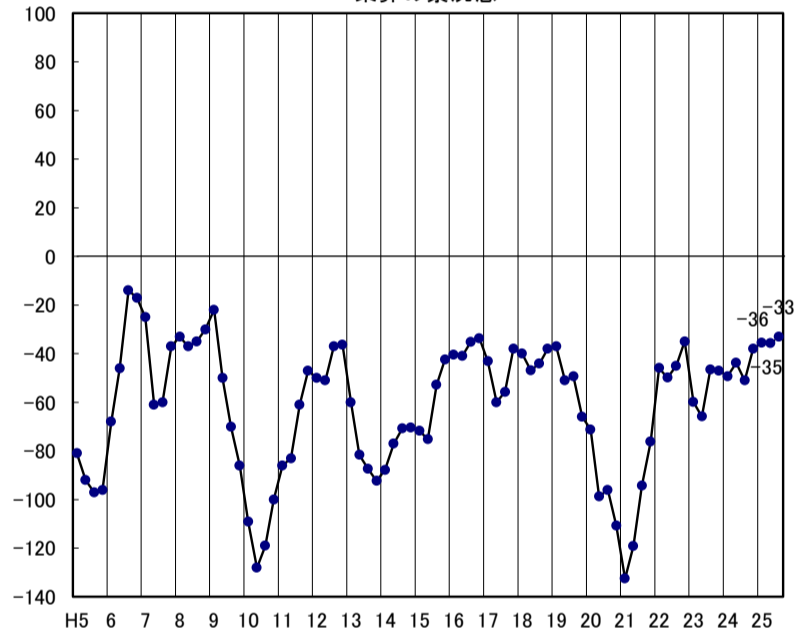
貨物の再委託



経常損益

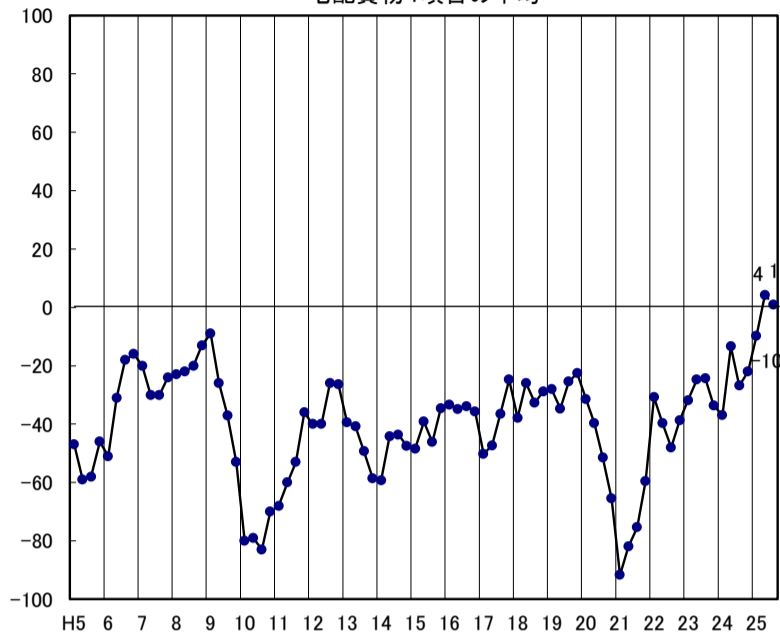


業界の景況感

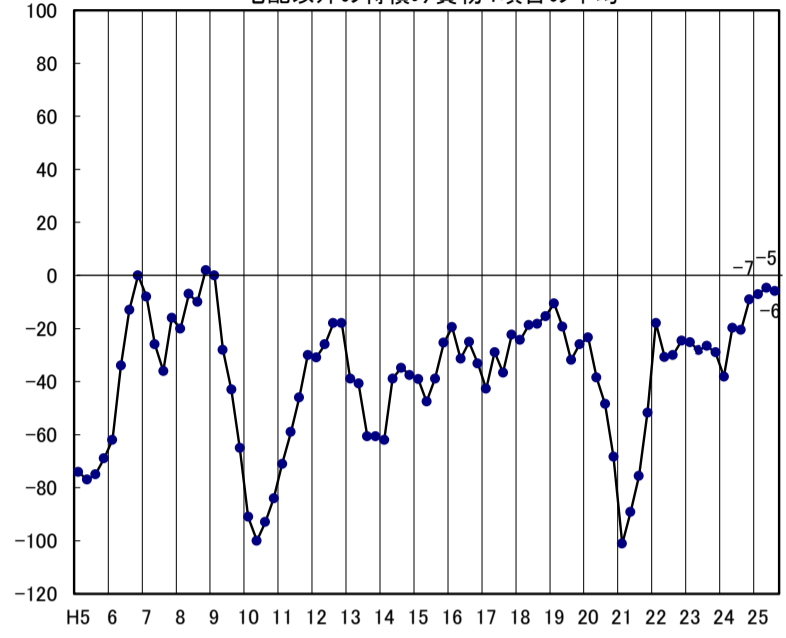


平成5年第1四半期～平成25年第2四半期実績、平成25年第3四半期見通し

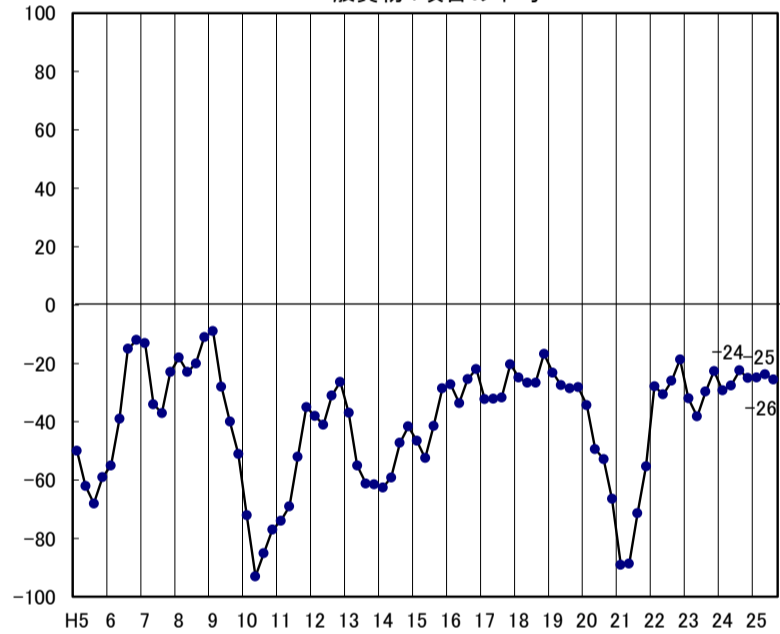
宅配貨物4項目の平均



宅配以外の特積み貨物4項目の平均



一般貨物4項目の平均



全項目の平均

